

# 取扱説明書 保管用

# 日立電撃殺虫器 (軒下・屋外通路用)

# HITACHI

Inspire the Next

WVS2251

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

## 施工説明

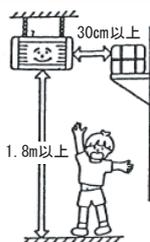
工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意



**警告** 【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるものを示しています】

■地上・床面上から1.8m以上の高さに取り付けてください。また、樹木・工作物から30cm以上離してください。取り付けが近すぎると、感電・他の物の変質・変色・火災の原因となります。  
[電気設備技術基準による]



電気設備技術基準

■雨水が直接降りかかる場所に器具を取り付けしないでください。軒下・屋外通路などの雨水が直接降りかからない雨線内に器具を取り付けてください。雨水による感電・火災の原因となります。

電源線接続

■電源線接続の際は確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災の原因となります。

アース工事

■アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。【D種接地工事】不完全な場合は、感電の原因となります。



電気設備技術基準

■容易に開閉できる場所に必ず専用の開閉器を設けてください。  
[電気設備技術基準による]

■器具の取り付けは、この器具の重量に耐える所に、「器具の取り付けかた」に従って行ってください。取り付けに不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

機種	20Wタイプ
器具重量	19kg



取り付け

■定められた取り付けかた以外は、絶対に取り付けしないでください。床や台などに置いたり、指定以外の取り付けを行いますと、落下・感電・火災の原因となります。

方向性

■器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。

改造

■爆発物・揮発性引火物のある場所には取り付けしないでください。爆発・火災の原因となります。

引火物

■腐食性ガス雰囲気のある場所には取り付けしないでください。変質・変色・絶縁不良・落下の原因となります。

腐食性ガス

■振動の激しい場所には取り付けしないでください。落下の原因となります。

振動



**注意** 【誤った取り扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性のあるものを示しています】

■この器具は周囲温度5℃～35℃の範囲で使用するように設計されています。この範囲でご使用してください。



温度

■この器具の定格電圧は100V±6%です。電源電圧は器具を取り付ける前に確認してください。間違えて使用しますとランプ・安定器等の寿命が短くなったり、火災の原因となります。

確認  
100V

定格電圧以外

## 取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。



**警告** 【誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性のあるものを示しています】

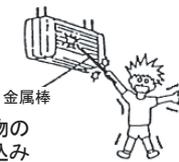
■殺虫剤・スプレー等の引火物の噴霧はおやめください。爆発・火災の原因となります。

引火物



■金属棒等で電撃格子に絶対にさわらないでください。また、器具のすきま・穴に金属物等を差し込まないでください。感電・火災・故障の原因となります。

金属物の差し込み



■蛍光灯や器具を布・紙等の可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけないでください。火災の原因となります。

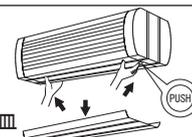
引火物

■器具に飛びついたり揺らしたりしないでください。落下して、ケガの原因となります。

振動

■虫受皿に虫がたまりましたら、スイッチを切り虫受皿をはずして虫を捨ててください。虫が多くなりますと、虫が燃えて火災の原因となります。

虫受皿



■虫受皿に薬剤・水等を入れないでください。薬剤によっては火災の原因に、またサビの原因となります。

薬剤水

■捕虫リボン等を電撃殺虫器といっしょに使用しないでください。捕虫リボン等が器具に張り付きますと火災の原因となります。

捕虫リボン

■高圧碍子にほこり等がたまりますと、漏電・感電・火災の原因となります。ほこりがたまりましたら柔らかい布等でほこりを取り除いてください。

高圧碍子

■蛍光灯・グロースタータの交換の際は必ず電源を切り、本体表示及び取扱説明書に記載のものをご使用ください。指定以外のものを使用しますと加熱により器具の変色・変形・火災の原因となります。

専用ランプ

【シンボルマークのご説明】



必ず行う事項



必ず電源を切る



必ずアース線の接続を行う



一般的な禁止事項



分解禁止



発火注意



一般的な注意事項

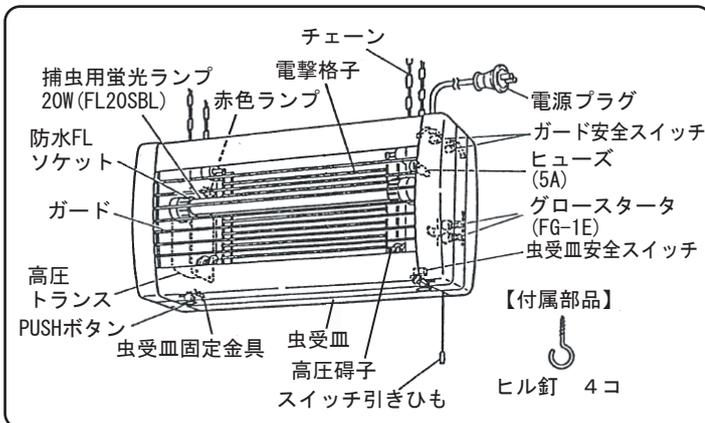
# お願い

雷が近づいているときは、専用開閉器を切ってください。故障の原因となります。



この器具には安全装置がついております。虫受皿をはずしたり、ガードに触れたりしますと安全装置により、電源が切れるようになっております。  
※故障ではありません。正しい状態にしますと自動的に電源が入ります。

## 各部のなまえ

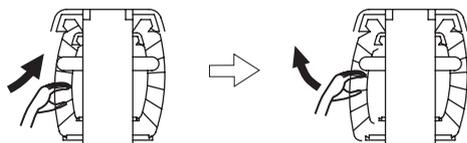


## 器具の取り付けかた

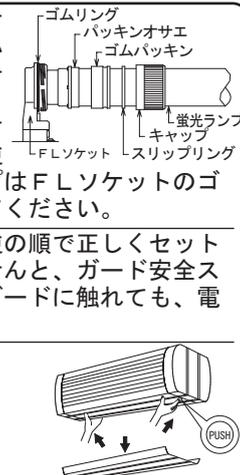
- ①本体に付いている保護パットを、すべて取り除いてください。
- ②天井に付属品のヒル釘をしっかりとねじ込んでください。取り付けが不完全な場合は、落下の原因となります。  
※取り付け間隔は、図の寸法で行ってください。
- ③本体上部に付いているチェーンを、ヒル釘に取り付け、本体を吊り下げてください。
- ④虫受皿の左右にある丸穴を、本体下部の左右にあるPUSHボタンに合わせて虫受皿を持ち上げてください。  
(左右でカッチという音がします。)  
虫受皿は本体に固定されました。

## 器具の取り扱いかた

- ①専用開閉器を入 (ON) にしてください。
- ②コンセントに電源プラグを差し込んでください。  
※専用のコンセントをお使いください。
- ③スイッチ引きひもを引いてください。赤色ランプと蛍光ランプが点灯し、電撃格子に高電圧が流れます。
- ④蛍光ランプ交換等は、ガードをはずして行ってください。ガードは少し持ち上げてから、手前に引くと、上下両端の受金具からはずれません。



- ⑤蛍光ランプの交換は、蛍光ランプの左右のキャップを左に回してFLソケットからはずし、蛍光ランプは90°回転させてFLソケットからはずしてください。取り付けの際は新しい蛍光ランプの左右にキャップを装着し、はずしたときの逆の手順で取り付けてください。キャップはFLソケットのゴムリングが見えなくなるまで締め付けてください。
- ⑥ガードの取り付けは、はずしたときの逆の順で正しくセットしてください。※正しくセットされないと、ガード安全スイッチが働かず、点灯しなかったり、ガードに触れても、電源が切れないことがあります。
- ⑦虫受皿をはずす時は、本体下部にある左右のPUSHボタンを両手で押し出すと、虫受皿をはずすことができます。  
※虫受皿は正しく取り付けてください。  
(器具の取り付けかた④参照)



## お手入れ・ランプ交換



必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 電撃格子に虫が付着すると殺虫能力が低下します。清掃してください。電撃格子は乾いた布でふいてください。金属部分をクレンザー・たわし・金属ブラシ等で磨かないでください。傷・腐食の原因となります。
- 蛍光ランプを清掃する際は、蛍光ランプを器具から取りはずしてから、乾いた布でふいてください。  
※蛍光ランプはガラス製品ですから、物にあたり落としたりしないよう、特に気をつけてください。



- ガソリン・ベンジン・シンナー等の薬品でふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。変色・変形の原因となります。
- 器具のよごれは乾いたやわらかい布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってふいてください。
- 防水FLソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品等は使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
- 器具の水洗いはおやめください。感電・故障の原因となります。



### 保証について

- 照明器具の保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、安定器は3年間です。
- ランプなどの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、お買上げの販売店 (工事店) にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。